日本の野球の歴史

1872年: 日本で野球が紹介

1876年: 第1回全日本高校総合運動大会開催

1885年: 野球連盟設立

1896年: 川村李幹が国体の開催を提案

1920年: 五輪第8回大会開催

1934年: 五輪第13回大会開催

1944年: 五輪第17回大会開催

1960年: 五輪第20回大会開催

1964年: 五輪第23回大会開催

1984年: 五輪第24回大会開催

2020年: 五輪第32回大会開催
疫

痢

疫病と云ふ病気は今日のところ未だその本態が明瞭でない。傳染病規則ではこれを一種の法定傳染病として取扱ふことにしてるが、果して特殊の病原菌によって起る独立の疾患であるかどうかの病原菌によって起る独立の疾患であるかどうかに対しても随分疑をもつ人が少なくな。一部の人

は疫病は幼児に来る急激な赤痢であると拝会けるが、これも必ずしも確かとは云へない。尤も一

家族内で兄弟が同時に発病して一人は定型的赤痢で、家族内で兄弟が同時に発病して一人は定型的赤痢であり、他の一人は疫病であると云ふような例も折々ある。又細菌学的検査の結果、所謂疫病患者から赤痢菌の証明される例も少なくな。これ等の事実は疫病は赤痢の一種であるとの論者の有力
因で不明と云はねばならぬ。しかし経験上疫病を
戦にとして過敏、そして抵抗力の弱い体質があ

この構造は種々の原因や誘因があることに知られ

季節は七月である。次いで六月及八月であって冬

も少なく疫病のある季節が三歳から七歳までであ

が、殊に四歳から五歳の幼児に多い。乳児には疫病

を見ることは全くない。又八、九歳以後の児童に

は極めて少ない。第三に小児の体質である経験上疫

病と云ふ病気は特にある体質の小児が罹り易いや

うである。それは一度疫病に罹って幸に治癒した

から何となしに疫病はある特別の体質的小児が

ないことや、兄弟が時を異にして二人も三人も時

には四人も疫病で焼れる家庭が屢々見られるとこ

罹り易いではないかと考へられる。これに対し

小児が二度も三度も薬を飲む病気を罹ったことが多く

不衛生は直接疫病の誘因となることが多いよう

でもして表ば衣類を洗って食べたり、不良なバナ

例へば枇杷や梨を澤山食べたり、不衛生な方法で

を食べた後などにこころ例は屢々見られるところ

である。第五に暑熱である。夏の炎天に永くさら

されて後発病することがある。第六に腹部の冷却

が誘因にあると云はれてる。寝かせてややいかつ

思ふ。又稀に海水浴の後に疫病になることがある
次に痙攣の症状を簡単に述べよう。名古屋地方では早いかより之を早手は飓風病と呼ぶ。熊本地方では急症と呼んでいる。これによっても如何に痙攣の発病急激であると経過の迅速であるか窺われる。通常これまで別に変ったこともなく元気で遊んでいた幼児が急に元気がないなり高熱を発してくる。尤も痙攣でも時には餘り熱のないものをも発するかそうだ。通常初めは不消化物位のもので大して悪い便だとも思はぬ。次で吐いたり下痢したりすることが多いもので餘り多くない。赤痢の時は下痢の回数の多少のもので餘り多くない。
薬麻子油は小児に用ひられる下剤の中で極く安価で又有効なところから近頃一般家庭で廣く用ひられているが、又薬麻子油は通常胃内に吸収され激しい中毒症状を起こすべきことを容易に想像され下剤として薬麻子油を用ひることである。通常薬麻子油を一掃する傾向が多いから一言その用ひ方に対して注意をこごく述べておきたい。薬麻子油は通常胃内容を排泄する下剤として薬麻子油を一掃するために腸の洗浄が大切である。次に腸内を排泄する大腸内を一掃することが出来れる。これによって二三時間もしくは五六時間後には大腸内を一掃することの為に腸の洗浄が大切である。薬麻子油は小児用ひる下剤として早速に腸内容を一掃する効果がある。薬麻子油は小児用ひる下剤として早速に腸内容を一掃する効果がある。
幼児の消化不良症

従来の治療を乞ふようにするべきである。

幼児の消化不良症は、特に元気のない子供が食事に不快を感じることを示す。

この症状は、特に小児の胃腸が弱いとされるが、特に大便の Sparse な状態が見られる。

消化不良症の症状は色々であるが、極く軽いこと

幼児に与へた食物の質は、既に腐敗に近い、それ
がために急に胃腸障害をおこすことがある。

消化不良症の症状

食事の状態は、特に大便の Sparse な状態が見られる。

この症状は、特に小児の胃腸が弱いとされるが、特に大便の Sparse な状態が見られる。

消化不良症の治療

幼児の消化不良症の治療方法

食事の状態は、特に大便の Sparse な状態が見られる。

この症状は、特に小児の胃腸が弱いとされるが、特に大便の Sparse な状態が見られる。

消化不良症の症状

食事の状態は、特に大便の Sparse な状態が見られる。

この症状は、特に小児の胃腸が弱いとされるが、特に大便の Sparse な状態が見られる。